

第10回 地方鉄道向け無線式列車制御システム技術評価検討会 概要

1. 日 時 : 令和7年10月28日(火) 14:00~16:00
2. 場 所 : 中央合同庁舎3号館6階 鉄道局大会議室
3. 出席者 : 中村日本大学名誉教授、古関東京大学教授、高橋日本大学教授、
研究機関、関連団体、鉄道事業者、国土交通省鉄道局、日本信号株式会社
4. 結果概要 :

日本信号から、地方鉄道向け無線式列車制御システムについて、進捗状況や現車試験の試験項目・内容の報告が行われた後、意見交換を実施した。(一部修正あり)

委員からの主な発言は以下の通り。

- 車内信号の表示については様々な意見があるため、実際の運用や取扱い、人間工学的も踏まえて最終決定するもので、この検討会内で必ずしも決めなくても良い。
- 伊豆箱根鉄道固有の事情にカスタマイズしているところもあると思うため、他の事業者にて導入する際には見直すのか、または上手く実用化できれば他の事業者も同様に使うのか、最終的には分けて整理した方が良い。
- P.41の試験項目で「通信断発生時の挙動」があり、その評価基準として「通信断が発生しても安全に走行を継続できること」と記載があるが、安全に走行できることと安定的に継続して走行できることは別のものであると思う。
- 通信部分について、システム側で信号保安として必要な情報セキュリティの機能を実装すべきであるが、通信回線側でも一般的な情報セキュリティ対策を行う形である。通信媒体やセキュリティ機能は、時代に応じて取り替えられるようにした方が良い。通信媒体は最新のものを利用できること、信号保安部分はどんな媒体がきても安全を確保できるように作ることが重要。